



# ようこうだより 8月

令和2年8月3日

社会福祉法人みどり会



園長 山崎 恵美

梅雨明けを待たずして夏を知らせるセミの声がにぎやかに聞こえ始め、一番暑い季節がやってきました。楽しみにしていたプール遊びも始まり、子どもたちは「コロナに負けないぞ!」と言わんばかりに元気いっぱい過ごしています。

先日、7月22日の年長キャンプでは七瀬川溪流釣り場でニジマス釣りをしました。釣り場では雨が降り始めましたが、気温は高くカッパを着ての“雨降り釣り”となりました。幼児にとっては、長くて重い釣り竿を一人で持って釣りをするのは至難の業。難しそうにしている仲間を見つくと一緒に竿を持ってくれる子や、釣れはしたもののピチピチと跳ねる魚を触れずにいる友だちを見て、釣り糸を手練り寄せ針を外してくれる子もいました。炭火で焼くのに、裏山の手作り竹串に釣った魚を刺すのを躊躇する友だちに「こうしたらいいんよ」と教えてくれる子など、大人の力を借りずに知恵をしばって協力し合う姿をたくさん見ることができました。

今回のキャンプの中で印象に残った子どもの言葉があります。ウキが沈んだ瞬間に竿を上げるのですが、上げる直前に竿の先のエサを何度も魚に食べられてしまいました。そのことに気づくなり「そんな時もあるよ。またやればいいよ」とつぶやいていたのです。その言葉の中には、“だけど大丈夫!”“絶対、釣れるはず!”といった気持ちが含まれていました。エサをつけなおしながら6回目の挑戦…大きなニジマスを手にした時の歓声と笑顔は言うまでもありません。きっと今までも、思い通りにならないことや失敗することがあっても、諦めずに挑戦してきたからこそ育ってきた『やればできる』強い気持ち。園外での特別な過ごしの中だからこそ、日常で培った心や身体の成長が見えたひと時でした。

新型コロナの影響で泊まりはありませんでしたが、全員1匹ずつ魚を釣りあげ、自ら調理し美味しく生きている命をいただいた貴重な体験は子どもたちの心の奥底に残り宝物となってくれることでしょう。

## ◆ ◆ ◆災害対策について◆ ◆ ◆

保育園の裏山は傾斜が緩やかで低いため、土砂災害（がけ崩れ等）警戒区域には指定されていませんが、非常に激しい雨や土砂災害などの危険性がある場合は、裏山から離れた保育室で保育し、無理に避難所等へ移動することなく基本的には園で保護者の方のお迎えを待つ態勢をとります。園児の安全確保を最優先とするため、保護者の皆様には登園の自粛や登園した場合は早めのお迎えなどをお願いすることがあります。登園後の緊急時の連絡は、「コドモン」のお知らせ機能を使用します。何卒、ご理解ご協力をお願いいたします。



<年長キャンプ。七瀬川で魚つり>



### 8月~9月 行事予定



- 8月5日(水) 夏まつり
- 8月28日(金)まで 個人懇談(希望者のみ)

- 9月5日(土) 0歳児運動会 ※詳細は後日お知らせ
- 9月11日(金) お月見会
- 9月17日(木) 敬老の日交流会→コロナの為中止の予定

→裏面につづく



## ～前向きにたくましく生きる～

雨降りが多かった7月でしたが、子どもたちが楽しみに育てている畑やプランターの夏野菜が水不足になることなく、大きな実をならしてくれています。雨の合間に、みずみずしいキュウリ、ピーマン、ナス、オクラ、トマトを収穫しては「見て、見て！」と喜び勇んで事務所に飛び込んで来る野菜作りの名人たち。十分すぎる程降り続いて心配の種でもあった大雨が、豊作を生む“恵みの雨”となっていることに感謝する日々です。「みんなのお世話と、いっぱい降ってくれた雨のおかげで立派な野菜ができたね」と子どもたちにも伝えてきました。雨が降る日に空を見上げ、「野菜がまた大きくなるよね！」とつぶやく声も聞こえてきました。また、今年ほど雨上がりのどろんこ遊びが大盛況だった年はありません。あんなに汚れることを気にしていた子ども、いつの間にか、どろんこ遊びの達人になりたくましくなったなあ…と心から嬉しくなります。そんな日常の過ごしを見てみると、ふと、『禍を転じて福と為す』（身にふりかかった禍を上手に利用し、幸せになるよう工夫すること）ということわざを思い出しました。

新型コロナウイルス感染がニュースで伝え始められた頃は、まさかこんなに長期化するとは思いませんでした。本年度はコロナ禍での保育園の過ごしや行事も例年通りといかない状況です。「今年は〇〇ができそうにない」と、つついすぐ口にしてしまいそうになることもあります。『禍を転じて福と為す』…難しそうなことも、どうしたらできるか？ありとあらゆる情報を集め、知恵をしぼり可能な限り工夫して毎日成長していく子どもたちに必要な過ごしや経験を保障したいと思います。そのためにも、保護者の皆様にも安心して園に預けて頂き、ご理解を得られるよう感染防止対策に努めてまいります。

子どもたちの幸せを願い、ワクワク楽しいことを発信できるか？“どんな時も前向きに挑戦する大人の姿を見せる”…そんなチャンスでもあるような気がしています。

### ●保護者会からハッピーを寄贈いただきました●

本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、保護者会参加の夕涼み会を変更し保育中に子どもたちのみの“夏まつり”となりました。

この度は、子どもたちのために夏まつり用のハッピーを寄贈していただき感謝申し上げます。当日は、年長児がハッピーを着て歌を披露するなどしてお祭りを盛り上げます。ホール(玄関よこ)に掲示しますのでご覧ください。



★夏まつりのハッピー(手ぬぐい・帯付き)

～お知らせ～

○1歳児担任 小早川のどか先生が

7月に結婚して“越間(こしま)”先生になりました。

○小林美紀先生が7/13に無事出産し育休に入りました。

